高い介護保険料の引き下げを

水野 金光

問 高浜市は、愛知県下一高い介護保険料であることから、高齢者に大きな負担になっています。来年4月スタートする第5期介護保険事業計画策定に当たって、介護保険料の引き下げの取り組みは。

答 国の第5期介護保険料の試算では、全国平均で5080円から5180円となっており、当市も全国平均並みになるのではないかと考えています。

問 上乗せ、横だしサービスを介護保険で実施していることが、保険料が高い原因であり、市の福祉施策で行うべきではないか。

答 上乗せ、横だしサービスについては、現在実施している65歳以上高齢者のアンケート結果を踏まえて第5期介護保険事業計画策定に反映させます。

問 特別養護老人ホームが不足し、入所待機者は常に100人以上になっており、一刻も早く特別養護老人ホームを建設するよう求める。

答 待機者対策として、地域密着型の小規模特養の整備を第5期介護保険事業計画に位置づけ、平成25年度に事業開始できるよう進めます。

高浜市の事業仕分けを問う

問 第1回事業仕分け実施時に、事業仕分けの名により住民のくらしに影響する弱者切捨てをしないことを求めてきたが、この仕分けで「不要」と判定されたいきいき銭湯無料開放は年間1万2000人を超える高齢者が利用し、介護予防に大きな力を発揮してきたにも拘らず、廃止としているが、これでは弱者切捨てであり、事業継続を求める。

答 介護予防事業の見直し再構築の結果、より多くの高齢者を応援するため、いきいき健康マイレージ事業へ移行するものであります。

こども発達センターについて

杉浦 敏和

問 いきいき広場がどのように4月から変わるのか。又、親が子どもの障がいを理解し、受け入れるため、どのように関わり、支援、サポートしていくのか。

答 これまでの高齢者と障がい者に加え、こども発達障がいをはじめ、不登校相談等、こどもの相談窓口の集約化と一元化を進め、新たな支援体制を構築します。発達障がいは気づきにくく、周囲からも誤解を受けやすい。理解と受け入れの相談窓口となり、専門職のチームでライフステージに応じ継続的に支援する。

問 実施する事業の健診と健診事後相談の実施日程は。又、発達相談、早期支援事業の準備状況は。

答 5歳児健診は、集団生活を経験した年中児に健診機会を設け、就学に備えるもの。相談日は、月2回第2、第4水曜日を予定。発達相談、早期支援では、臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士を各1名を配置し毎週水曜日に実施。個別支援では保護者同伴で毎週月曜日に予定。その場で、指導、訓練を受けるケースも想定している。

COP10について

問 大山緑地での自然体験学習と箱庭づくりの成果と今後の取り組みは。

答 子ども達には好評であった。次年度も実施予定。

「川のみち」について

問 高浜市ウォーキングトレイル整備事業として「川のみち」実施状況は。又、距離表示については。

答 前橋が開通し、小橋までの堤防等の改修工事に併せ、整備を進める。距離表示は稗田川拡幅整備工事全て完了後設置予定。暫定的に距離表示の看板を設ける。

市長直轄組織の事業について及び成年後見人制度について

内藤 皓嗣

問 経営戦略グループの取り組みついて。

答 「企業誘致の促進に関する業務」では、市長及び副市長が先頭になり、ワンストップサービスを目指した企業向けの総合窓口として、PRしてきたことにより企業と一層良好な関係が築けたと捉えている。奨励対象企業としての申請は工場新設1社と拡張が1社となっている。「コミュニティビジネスの創出・支援に関する業務」では、NPO法人起業支援ネットとの協議を重ね、また㈱日本政策投資銀行の藻谷浩介氏を招き、市内を歩き観光や賑わいを創出するためのアドバイスを頂き、今後につなげていきます。

問 危機管理グループの取り組みについて。

答 危機管理体制の充実、整備のため、各部の職員で構成する地震災害応急対策検討プロジェクトを設置し検討を重ねてきました。ここでは、地震災害時における応急対策を確実に実施するため、